

知ってる？ 第4号 アイスランド！ アイスランドのサンタは13人！

東京2020オリンピック・パラリンピック大会を機に、多摩市はアイスランドのホストタウンとなりました。このシリーズ記事では、アイスランドの情報をさまざまなテーマでお届けします！

今回はこの時期にぴったりなクリスマスの話題を紹介します。

アイスランドには、サンタクロースが13人もいるのをご存じでしょうか？ しかもその正体は日本でよく見かける、赤い服に白いひげの優しいサンタさんではなく、ユールラッズという13人兄弟のトロールです。

このサンタたちは山に住んでいて、12月12日から1日1人ずつ町にやってきて、12月24日のクリスマスイブに全員が集合し、クリスマスをお祝いします。アイスランドの子どもたちは、良い子にしていれば13人のサンタから13日間毎日プレゼントがもらえるそうです！

現在は温和なサンタたちですが、昔はとてもいたずら好きで、町にくるとそれぞれ特徴的ないたずらをしていたようです。

町でいたずらをしたサンタたちは、12月25日からまた1人ずつ山に帰っていき、1月6日に最後の1人が帰ると、花火でクリスマスシーズンを締めくくります。

こんな風に、アイスランドのクリスマスシーズンは12月12日～1月6日ととても長く、13日間もプレゼントをもらえるんです！

同じサンタでも、日本のサンタのイメージと全然違いますね。

備考13人のサンタのパネル展示実施予定。詳細は、公式ホームページ参照ID1012593問文化・生涯学習推進課☎(338)6882・Fax(371)3711



※アイスランドで有名なチーズやヨーグルトのような食べ物

チャレンジを
後押しする

多摩ラボ

第4回

やってみた！人
インタビュー

日常の中で、公共空間をより快適に楽しく活用するための新しい試みとして、9月19日にココリア多摩センターとパルテノン大通りのオープンスペースを利用した「パブリックビューイング IN 多摩センター」と題し、プロ野球の中継を壁面に映し出しました。

くつろぎ空間の創出や連携企画のスタンプラリーの実施など、民間施設と公共スペースの一体的な活用やナイトタイムの賑わいをみんなで作り上げ、まちがもっと素敵な場所になっていくことを目指して検証を行いました。

今回は、その取り組みにご協力いただいた方にお話を聞きました。

問多摩センターわくわくプロジェクトについて=経済観光課☎(338)6830、まちづかい社会実験について=都市計画課☎(338)6856



▲ココリア多摩センター軒下でスタンプラリー抽選会の賞品を配布しました

ココリア多摩センター 営業担当

想像以上の反響

今回のパブリックビューイング(PV)は、たくさんの方が参加した注目度の高いイベントになったと思います。多摩センターは、平日の夜は人が少ないので、PV当日は夕方以降に人が増えたり、滞在時間が伸びたりと、目に見えた効果がありました。

想像以上に反響があり、このような地元に親しまれる取り組みには、ココリア多摩センターの軒下利用も含めて、協力したいと考えています。

読売巨人軍 金丸さん

まちの活性化に向けた取り組みとの相乗効果

今回のパブリックビューイングは、都市部の屋外では初めての試みとなりました。プロ野球を視聴する機会が減少している中で、地域の方など多くの人が集まってプロ野球を観戦し、楽しい時間を共有できた良い機会になったと感じています。

今回のPVをきっかけに、多摩市の皆さんに読売ジャイアンツをより身近に感じていただき、球場へお越しいただけるように、このような機会を増やしていきたいと思っています。